

一般社団法人 日本急性期リハビリテーション医学会

第9期 事業報告

(令和6年10月1日から令和7年9月30日まで)

1. 会員現況

令和7年9月30日 会員総数：222名
(令和6年9月30日 会員総数：230名)

2. 役員、代議員

役員：理事長1名、副理事長1名、理事7名、監事1名

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
理事長	田島 文博	ちゅうざん会 / ちゅうざん病院	理事	西村 行秀	岩手医科大学
副理事長	安保 雅博	東京慈恵会医科大学	理事	馬庭 壯吉	島根大学
理事	角田 亘	国際医療福祉大学	理事	三上 靖夫	京都府立医科大学
理事	木村 慎二	新潟大学	理事	山内 克哉	浜松医科大学
理事	佐浦 隆一	大阪医科大学	監事	佐々木 信幸	聖マリアンナ医科大学

代議員(社員)：86名

3. 社員総会の開催

令和6年11月2日 岡山コンベンションセンター2階 レセプションホールム
出席49名、委任状提出35名 合計84名

4. 理事会の開催

- ・第1回 令和6年10月8日(メール審議)
- ・第2回 令和6年11月2日
- ・第3回 令和7年2月10日(メール審議)
- ・第4回 令和7年7月14日
- ・第5回 令和7年9月2日(メール審議)

5. 第62回日本リハビリテーション医学会学術集会との合同シンポジウムの開催

開催日：令和6年6月13日

会場：国立京都国際会館

テーマ：『三位一体で考えるこれからの急性期リハビリテーション診療のあり方』

座長：角田 亘 (国際医療福祉大学)、西村行秀 (岩手医科大学)

演者：・チーム医療の要としてのリハビリテーション科医の役割と葛藤

酒井康生(島根大学医学部リハビリテーション医学講座)

・生存戦略としての早期離床

佐々木信幸(聖マリアンナ医科大学リハビリテーション医学講座)

・運動療法と栄養療法

西山一成(岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座)

・患者の人生を好転化する包括的リハビリテーション診療

尾川貴洋(愛知医科大学医学部リハビリテーション医学講座)

(敬称略)

一般社団法人 日本急性期リハビリテーション医学会

第10期事業計画

(令和7年10月1日から令和8年9月30日まで)

1. 理事会の開催

- 第1回 令和7年10月（メール審議にて開催）
- 第2回 令和7年10月（第9回秋季学術集會中）
- 第3回 令和8年7月

2. 社員総会の開催

令和7年10月23日（第9回日本リハビリテーション医学会秋季学術集會中）

3. 研修会事業

- (1) 日本リハビリテーション医学会が主催する医師向け研修会を日本リハビリテーション医学教育推進機構と共に共同主催

『第6回 急性期病棟におけるリハビリテーション診療、栄養管理、口腔管理に係る医師研修会2025』

開催予定：2026年1月10日・11日予定

開催方法：ZoomによるWeb開催

- (2) 日本リハビリテーション医学教育推進機構が主催する関連専門職向け研修会を日本リハビリテーション医学会と共に共同主催

『急性期病棟におけるリハビリテーション関連専門職』研修会

配信期間：2025年10月予定

開催方法：オンデマンド配信

- (3) 日本リハビリテーション医学教育推進機構が主催する医師向け研修会を日本リハビリテーション医学会と共に共同主催

開催予定：2026年7月開催予定

開催方法：ZoomによるWeb開催

4. 講演・シンポジウムの開催

- (1) 講演
予定なし

- (2) シンポジウム

第63回日本リハビリテーション医学会学術集會との共同企画で合同シンポジウムを開催予定
令和8年6月 第63回日本リハビリテーション医学会年次学術集會 福岡にて

5. 教育事業

令和6年3月に発行した急性期のリハビリテーション医学・医療テキスト第2版を、新入会時に配布する。

6. 関連専門職との関係強化

理学療法士、作業療法士が急性期の医学・医療についての教育を促進するため、技師長、副技師長との関係を強化して、療法士が参加できる体制作りをすすめていく。

7. 各診療科医師に対する広報活動

ネットを利用して、急性期のリハビリテーション診療の具体例などを発信していく。